時間がなくて男女一緒に水着に着替えたプール授業の思い出

中学生の頃の話。うちの学校ではプール授業では教室で男女一緒に着替えるのが普通だった。教室からプールまでの距離が遠すぎて、着替え場所を移動する時間が取れなかったからだ。先生は毎年「教室で済ませて急いですぐプールサイドに来い」と言っていた。

チャイムが鳴って教室のドアが閉まると、すぐに男子の着替えが始まった。僕を含めて男子はズボンを膝まで下ろすと、そのままパンツも一緒に下ろす子が多かった。パンツを足首まで下ろした瞬間、おちんちんが完全に丸出しになる。

最初はみんな恥ずかしがって、手で隠しながら水着を探していた。でも先生の声が廊下から「早くしろ！　時間がないぞ！」と聞こえてくると、隠すのを諦めてそのまま立ったまま水着を手に取るようになった。片足を上げ

て水着を履くとき、おちんちんがぷらぷら揺れるのが教室に晒される。そのたびに女子の視線がおちんちんに集まっているのがわかった。

いたずら好きの健太はよく、パンツを下ろした瞬間、わざと両手を後ろに回して立って、股間を隠さずに女子の方を向いていた。おちんちんが少し勃ち気味で、女子がチラチラ見ているのに気づくと、ニヤッと笑って水着をゆっくり履き始めた。他の男子も、最初は恥ずかしがっていたけど、回数を重ねるごとに「も

う隠すの面倒くさい」という感じで、普通に丸出しのまま着替えていた。

僕自身も毎回同じだった。周りの男子がみんな同じ状態なので、だんだん気にならなくなった。水着を履くときは、足を広げて通すから、自然とおちんちんが前に突き出た格好になる。その姿を、女子が横目で見ているのがわかった。